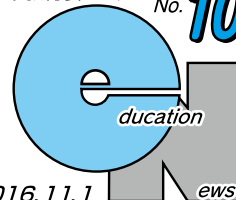


市教委だより

川越市教育委員会

No. 109



2016. 11. 1

ews

Kawagoe City Board of Education News

「インターハイで躍動」

市立川越高等学校女子バレーボール部

平成28年度全国高等学校総合体育大会女子バレーボール大会に、埼玉県代表として川越市立川越高等学校が出場しました。

写真は、平成28年8月4日(木)に行われた予選グループ戦の、岩手県代表盛岡誠桜高等学校の強烈なアタックを見事ブロックしたシーンです。

市立川越高等学校は今年で創立90周年を迎えました。2ページに関連記事を掲載しています。ぜひご覧ください。



- ◆創立90周年 節目の年に輝く 川越市立川越高等学校 …… 2
- ◆オールマイティーチャー配置事業/新学校給食センター …… 3
- ◆教育フェスタKAWAGOE/博物館出前授業・企画展 …… 4
- ◆知っ得!文化財 …… 5
- ◆教育相談Q&A・育英資金借り入れ申し込み案内 …… 6
- ◆子どもが参加できる各種講座/給食で使用する自慢の川越産!! …… 7
- ◆子どもサポート委員会!/いじめ撲滅強調月間 …… 8

川越市マスコットキャラクター

ときも



フォトニュース



市立川越高等学校とノースセーレム高校【アメリカ・オレゴン州】との交流

市立川越高校では、アメリカ・オレゴン州にあるノースセーレム高校との国際交流を実施しています。この交流は、昭和63年から始まり、今年で25回目を迎えました。今年は、6月19日から8日間、教員3人と生徒8人が訪日し、6月21日には、川合市長、新保教育長を表敬訪問し、その後、生徒の家庭にホームステイしました。また、滞在期間中、市立川越高校で書道や茶道などの日本文化を体験したり、体育の授業に参加したりしました。



子ども体験教室 夏休み特別企画編 ～遊びの時間～

7月30、31日に、博物館で子ども体験教室「遊びの時間」が行われました。子どもたちは、輪ゴム鉄砲や魚釣り、紙で作るコマ作りなど、さまざまな手作りのおもちゃを体験しました。昔ながらの遊びや手作りのおもちゃに触れ、工夫すれば身近なもので楽しく遊べることや、自分で手作りすることの楽しさを、遊びながら楽しく学ぶことができました。

博物館では、このほかにもさまざまな子ども体験教室を開催しています。ぜひ、参加してみたいかがででしょうか。

創立九十周年 節目の年に輝く

川越市立川越高等学校



本校は、今年

で創立九十周年を迎えました。大正十五年に埼玉県川越商業学校として創設され、平成十四年に

校名を市立川越高等学校に変更し、普通科、

情報処理科、国際経済科の三学科に再編しました。これまで、二万四千人を超える卒業生を輩出し、各界で活躍しています。

学業・部活動・学校行事等に懸命に取り組み、素晴らしい成果をあげている生徒達が、本校の誇りの一つです。また、平成九年に竣工した校舎は七階建てで、教室や廊下も広い構造になっており、学習しやすい環境になっています。

各部活動は、歴史に名を刻まんと活

躍しています。

女子バレーボール部は、六月の全国高等学校総合体育大会（インターハイ）埼玉県予選会で決勝リーグに進み、三戦全勝で優勝し、八年ぶりに女王の座を奪還しました。八月に通算三十四回目となるインターハイを戦ってきました。（表紙写真）

平成元年に甲子園出場を果たした硬式野球部も、夏の全国高校野球選手権埼玉大会で県ベスト八まで勝ち上がりました。特に、四回戦で昨秋、今春の埼玉王者である浦和学院高校を一对〇で破る圧巻の試合を見せてくれました。

吹奏楽部も、八月の県予選会を経て、九月の西関東吹奏楽コンクールで金賞、十月に、創部初となる東日本学校吹奏楽大会への出場をはたし、金賞をいただきました。山岳部の一年生男子は、山岳競技少年部の埼玉県選手団として、十月の国民体育大会（岩手県）に出場し、三位となりました。昨年度は、〇A部（ワープロ競技）、チアダンス



選手に声援をおくる 本校大応援団

部も全国大会に出場しています。本校では、十四の運動部、十九の文化部が中学生の皆さんをお待ちしています。

また、生徒会活動も盛んで、学校行事もとても盛り上がります。九月に実施された蒼穹祭は、「九十年の時間旅行」授業より普通に蒼穹祭が好き——と掲げ、本校の長い歴史と伝統を感じさせてくれるものになりました。生徒からの公募による九十周年イメージキャラクター「てるみ」も誕生しました。

さらに、アメリカ・オレゴン州にあるノースセーレム高校との国際交流を実施しています。今年は通算二十五回

目にあたり、アメリカから三名の先生、八名の生徒が来日されました。本校との交流では、書道や茶道などの日本文化を体験し、高校の授業にも参加してもらいました。来年度は本校が訪問する年です。



また、今年三月の合格実績・就職先も、埼玉大学、明治大学、青山学院大学、立教大学、法政大学、学習院大学、上智大学短大部、埼玉医科大学看護専門学校等への進学、武蔵野銀行、西武鉄道、プリンスホテル、国税局、川越市役所等への就職など、成果をあげています。今年度の結果にも期待しています。

平成二十八年十一月に創立九十周年記念式典が挙行されます。今後とも、本校を御支援ください。

オールマイティーチャーター配置事業

Part 5

本事業は、各学校の課題に応じて、子どもたち一人一人に応じたきめ細かな教育活動を推進するため、教員（オールマイティーチャーター）を川越市独自に採用し、配置するものです。川越市では、他市に先駆けた事業として実施して、今年で4年目。現在、小・中学校合わせて14校に14名を配置しています。

高階西中学校の長井 正邦 校長に活用状況を伺いました

Q 今年度、高階西中学校が取り組むべき学校課題とは何ですか。

A 本校は、「生徒一人一人のよさを生かし、一人一人を確実に成長させる教育」を推進しています。

そのためには、生徒一人一人に対する共感的理解に基づいた生徒指導の推進と、問題行動の予防や解決を図るための指導体制の確立が喫緊の課題です。

Q オールマイティーチャーター配置により、どのような効果があるとお考えですか。

A オールマイティーチャーターの配置によって生徒指導体制が充実することにより、生徒一人一人に対する理解が深まります。そのうえで、生徒指導主任が校長の方針のもと、連絡・調整及び指導・助言を行うことで、組織を適切に機能させることができると考えています。



Q オールマイティーチャーターをどのように活用していますか。

A オールマイティーチャーターが、生徒指導主任となっている教員の授業（理科）の一部を担当します。このことにより、課題の解決に向け、生徒指導主任を中心とした迅速かつ組織的な対応を一層推進することができます。

また、理科の授業では、観察や実験を充実させたり、ティームティーチングを行ったりすることができ、生徒の興味・関心をさらに高めることができると感じています。



Q 今後のオールマイティーチャーター配置事業に期待することは。

A 配置されたオールマイティーチャーターを、学校の実態や課題に応じて活用することができるとは極めて有効であると実感しています。

今後は、同一校複数配置や市内全校配置など、事業の一層の充実を期待しています。

平成29年9月から新しい学校給食センターが稼働

現在、川越市では市内小・中・特別支援学校に1日約2万8千食の給食を、菅間・今成・藤間・吉田の4つの学校給食センターから提供しています。このうち、藤間及び吉田学校給食センターは老朽化が進んでいることや、今成学校給食センターでは1日2回の調理を行っており、この二つの問題を解消するため、（仮称）川越市新学校給食センターの工事を進めているところです。

（仮称）川越市新学校給食センターは、①確実な衛生管理で安全・安心でおいしい給食の提供ができる施設、②川越産農産物のさらなる活用と食育啓発に貢献できる施設、③環境負荷低減に配慮した施設、④災害時に対応する施設、⑤効率的・効果的な事業が実施される施設の5項目を基本理念として掲げており、PFI（※）方式にて事業を進めています。

事業者は主に施設的设计・建設・維持管理・運営業務を担いますが、これらの中で献立の作成・食材の調達及び検収・給食費の管理・食育事業等は市が責任をもって実施します。

皆様のご理解とご協力を、よろしく願います。

学校給食課：TEL 223-6035



事業者	株式会社川越学校給食サービス （特別目的会社） 代表企業 株式会社東洋食品
建設地	川越市大字菅間字石橋18番地1
施設概要	鉄骨造 地上2階建て 提供食数 1日あたり約12,000食 （内、アレルギー対応食最大260食 ※平成30年度から提供開始予定）
配送する小学校	新宿小、高階小、高階南小、高階北小、高階西小、福原小、霞ヶ関小、霞ヶ関南小、霞ヶ関北小、霞ヶ関西小、川越西小、名細小
配送する中学校 特別支援学校	初雁中、芳野中、東中、南古谷中、高階西中、砂中、山田中、城南中、高階中、寺尾中、福原中、特別支援学校

※PFIとは、民間の資金・経営能力及び技術的能力等を活用して行う手法で、事業費コストの削減や、質の高い公共サービスの提供を図ろうとするものです。また、本施設は民間事業者が建設した後、市に所有権を移転し、民間事業者が維持管理及び運営を行う事業方式を取り入れています。

教職員が主体的に学ぶ

「教育フェスタKAWAGOE」

川越市では、教育の充実のために、教職員の資質・能力の向上を目指して、学校や教職員等の優れた実践や研究の成果を広く発信する場、一人ひとりの教職員が主体的に学ぶ場として、「教育フェスタKAWAGOE」を平成27年度から開催しています。

今年度は、平成28年8月8日（月）、川越市立教育センターで、第2回教育フェスタKAWAGOEが開催されました。「インタラクティブ（双方向）」をテーマに、26講座が設けられ約500人の教職員が参加しました。



大学の先生による講演会



模擬授業の体験



川越市マスコットキャラクター
ときも

優れた実践の発信や模擬授業、実験や体験などで発表者と参加者が自主的に学び合ったり、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に関する講演では真剣に聴き入ったりしていました。指導方法や最新の教育情報を知りたい、理解を深めたいという教職員の意欲があふれる研修会となりました。子どもたちの深い学びの場を目指す教職員にとって充実した時間になりました。

博物館出前授業

博物館資料を通して近世の川越について学ぶ

博物館では希望する小中学校へ資料をもって訪問する「出前授業」を行っています。その中から7月に名細中学校で行われた授業についてご紹介します。

授業は博物館利用研究委員会の先生が、積極的に人材や資料を活用するために計画しました。授業では近世（江戸時代）のまとめとして「近世の川越はどうだったのか」について学習しました。

いつもの挨拶の後に学芸員が自己紹介。今日はいつもと違うぞという期待感が教室に漂います。授業の中で子ども達は、江戸時代の川越にはたくさんさんの寺子屋があったこと、算額（※）が奉納されていたこと、あの伊能忠敬が学区を

歩いていたことなどを資料を見ながら学びました。

そして最後の資料として「女大学」という寺子屋で使われた教科書を読んで感想を話し合いました。現代とは違う価値観で書かれた書物に対して、共感できるかできないか話し合うことで、当時の様子について理解を深めていました。



※算額とは、和算家が解いた数学の問題を額に記して神社仏閣に奉納したものです。

第43回企画展 開催中

「城下町川越の町人世界」

10月8日(土)～11月23日(水・祝)

市立博物館では、川越藩17万石の城下町として栄えた川越町人について企画展を開催中です。今回の展示会では、川越町十か町の一つ高沢町の名主を勤めた井上氏が描いた「川越の四季屏風」や、氷川祭礼（現在の川越まつり）の山車が描かれた「氷川祭礼絵馬」などの資料から、川越町人の社会や生活を探ります。



川越の四季屏風（井上誠一郎氏蔵）

川越市立博物館 TEL 222-5399

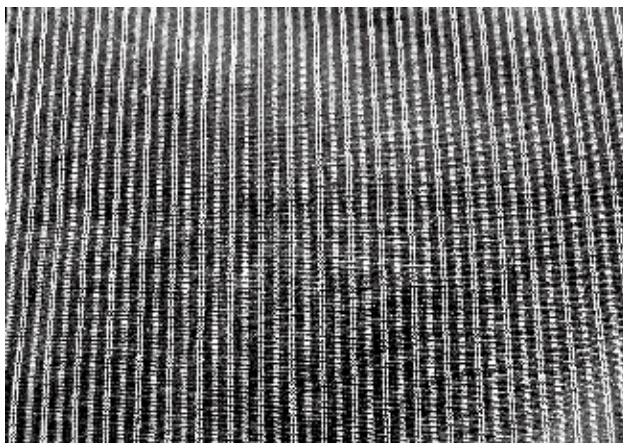
し たく 知っ得 知って ちゃんと 得意になれる！

ぶん か ざい 文化財

このコーナーでは、子どもたちにわがまち川越のことを知ってほしいとの思いから、川越の文化財をわかりやすく紹介します。

おりもの さか つく なか
る織物が盛んに作られていました。中でも「唐棧」という織物が有名で、「川越唐棧」と川越の名前をつけて呼ばれることもありました。

①唐棧ってどんなもの？



唐棧織(川越唐棧手織りの会製作)

います。「唐」は、この場合は「外国から来た」というような意味です。「サントメ」というのはインドの南の地方にあったという貿易が盛んだった町の名前です。インドは木綿の産地として有名ですが、そのインド(外国)の、サントメという場所からやってきた織物なので、唐棧織の名前がついたそうです。

②川越と唐棧織

唐棧は、はじめは輸入品しかなく、お金持ちの人しか着ることができないような高級なものでした。しばらくすると日本の中の織物の生産地で、唐棧の真似をした織物を作るようになりました。尾張(今の愛知県)などいくつかの産地がありましたが、中でも川越辺りで織られたものは、質が良く、輸入品に負けないものもあると評判になり、「川越唐棧」(川唐)という名前でも呼ばれるほどでした。

明治時代になると、志義町(今の川越市仲町)で絹織物の問屋をしていた中島久平という人が、外国から輸入した質の高い木綿糸を使って唐棧を織ることを考え、実際に作ってみたところ、ますます評判になりました。

大変人気があった川越唐棧ですが、機械織り機を使って人の手で織られていたため、機械で動く機械織り機が広まり始めると、機械織を先に取り入れた他の生産地に勝つことができず、廃れていってしまいました。



機械で織った唐棧織の例

そして今、昔の川越唐棧の着物はほとんど残っていませんが、川越唐棧だとわかっていて着物と、川越唐棧小布帖(川越唐棧の織物の一部を集めて本に貼ったもの)が、川越市の有形民俗文化財に指定されています。また、一度は織らなくなってしまった川越唐棧ですが、もう一度復活させようという人たちが長年努力した結果、手織りや、機械織りで川越唐棧を再現できるようになりました。その模様や手触りをぜひ確かめてみてください。

だい かい かわこえとうざん はなし 第34回「川越唐棧のお話」

みなさんも着物(和服)を着たことがあるかと思いますが、今では限られた時(七五三や浴衣など)にしか着ないという人が多くなりました。しかし洋服が入ってくる前は普段使いの服として、毎日着ていました。

川越市内やその周辺では、かつて着物の材料にな

「唐棧」とは、木綿糸で織られた織物や、その織物で作られた着物のことです。唐棧は江戸時代から明治時代にかけて流行しました。唐棧織は木綿の織物でありながら、絹糸のように細い糸を使っており、柔らかく光沢がありました。また、そのほとんどが細かい縦じまの柄で、当時の日本の人たちにとって初めて見るような模様でした。この縦じまは、とてもおしゃれな模様として好まれました。

唐棧織は、最初から日本で生まれたものではなく、元々は、外国から輸入されてきたものでした。唐棧という名前も、「唐」の「サントメ」を縮めた言葉から生まれて



教育相談Q&A

◆家に帰ると友達と遊ばない

小学一年生

【Q】小学校一年生の娘をもつ母親です。二学期も毎日元気に登校し、ほっとしているところですが、放課後は毎日、家に居て一人で過ごしています。本人は絵を描いたり、本を読んだり、楽しそうにしています。が、学校で何かあるのではないかと、友達がいないのではないかと心配になります。親としてのようにつけたいでしょうか。

【A】小学校入学はお子さんにとって大きな生活の変化があり、学校生活に適應できるか心配も多かったと思います。二学期も元気に登校できているのは、ご家庭での温かい見守りがあつたからでしょう。

小学校低学年は、まだ行動範囲が狭く、家で過ごす時間が多いのは自然なことです。また、新しい人間関係を築いていくことは、大人でも時間がかかります。学校で必要以上に気を遣ったり、頑張ったりして、精神的に疲れている場合もあります。無理に遊ばせようとせず、お子さんの気持ちを大事にしながら、少しずつコミュニケーションの幅を広げていきましょう。ま

た、お子さんが抱えている問題はないか、注意深く様子を見て把握することは大切です。そこで、次のような関わり方をしてみてはいかがでしょうか。

①家族と一緒に過ごす時間を大切にしましょう。

家庭は、子どもが心と体を休めるところで、家族の中で安心して過ごせる時間をつくっていきましょう。お子さんとの会話や遊び、家の仕事を手伝ってもらうなどのふれあいを通して、コミュニケーションをさらに深めてみてください。お子さんの興味を持っていることや長所など、新しい発見ができるかもしれません。さらには、学校や地域などのいろいろな行事に進んで参加するなど、さまざまな体験をさせながら、人間関係を広げていく機会をつくってみるのもよいでしょう。

②学校との連携を密にしましょう。

家庭では見えないお子さんの様子を知るには、担任の先生との連絡を密にすることです。学校と家庭で情報を共有することで、よりの確にお子さんの状態を把握できます。また、お母さんの心配されていることを相談し、協力をお願いしていきましょう。もしも、お子さんの様子でさらに気になることがありましたら、川越市立教育センター分室（リベール）等にご相談ください。

教育センター分室（リベール）

面接相談（予約制）：TEL 234-8333
電話相談：TEL 234-8335

育英資金～借り入れ申し込み案内～

問い合わせ…教育総務課総務担当TEL 224-6074

来年4月から高等学校・中等教育学校（後期課程に限る）・高等専門学校・短期大学・大学・専修学校に進学する方または在学中の方で、経済的に学資金などの支出が困難な方に、無利子で資金をお貸しします。

対象（次の要件をすべて満たす方）…①市内に引き続き6か月以上在住している②経済的理由で、学資金や入学準備金の支出が困難である③心身健全で、かつ学業成績が良好である

償還期間…貸付期間の2倍（据え置き期間＝卒業後6か月）

提出書類…①学資金・入学準備金借入申請書②校長の推薦書③成績証明書④健康診断書⑤住民票（家族全員のもの）⑥合格通知の写し⑦保護者全員の平成28年分源泉徴収票または確定申告書控えの写し

* ①②の用紙は、教育総務課・市立中学校に用意してあります。市のホームページからもダウンロードできます。

（ホームページ＝<http://www.city.kawagoe.saitama.jp/>）

* ⑥は、申込期間後の提出も可能です。

申し込み…平成29年2月1日（水）～3月2日（木）（厳守）に教育総務課（市役所東庁舎 2 階）へ直接持参

区分	貸付額		
学資金（月額）	高等学校	国公立	13,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	20,000円
	高等専門学校		16,000円
入学準備金	大学（短期大学含む）		30,000円
	高等学校	国公立	150,000円
	中等教育学校（後期課程に限る）		
	専修学校	私立	280,000円
	高等専門学校		160,000円
	大学（短期大学含む）		360,000円

※貸付決定にあたっては、審査があります。申請された方全員に貸し付けが決定されるとは限りません。

11月～1月に子どもが参加できる各種講座

講座名	日時・申し込み等	中学生	問い合わせ
子ども映画会	11月20日、12月17日、1月15日 13時30分～		中央図書館 TEL222-0559 FAX224-7822
アニメ映画会	11月12日、12月11日、1月14日 13時30分～		
冬のおはなし会	12月21日 15時30分～16時30分		
どうようおはなし会	毎週土曜日 15時～		西図書館 TEL237-5660 FAX237-5661
クリスマスおはなし会	12月21日 ①11時～ ②15時30分～		
初笑いおはなし会	1月7日 14時～16時		
にちようおはようおはなし会	毎週日曜日 11時～		川越駅東口図書館 TEL228-7712 FAX228-7713
あきのとっておきおはなし会	11月6日 11時～		
クリスマスおはなし会	12月22日 15時30分～		
どうようおはなし会	毎週土曜日 14時30分～		高階図書館 TEL238-7550 FAX238-7551
クリスマスおはなし会	12月15日 15時30分～		
ふゆのどうようスペシャルおはなし会	1月28日 14時30分～		
子ども体験教室 「お正月飾りを作ろう」	12月10日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝12月1日、9時から電話またはファクス (定員各回20人)	○	博物館 TEL222-5399 FAX222-5396
子ども体験教室 「まゆ玉飾りを作ろう」	1月14日 ①10時～12時 ②13時30分～15時30分 申し込み＝12月6日、9時から電話またはファクス (定員各回16人)	○	
冬休み子ども映画会	12月26日、12月27日 10時30分～12時	○	大東南公民館 TEL242-0498 FAX240-1755
石と森の夢工房	①1月21日 10時～11時15分 ②2月18日 10時～11時15分 申し込み＝12月22日、10時から電話、ファクスまたは直接 来館 (定員各回30人)	○	
季節のあそび ～クリスマスリースをつくろう～	12月17日 13時30分～16時 申し込み＝11月22日、10時から電話、ファクスまたは直接 来館 (定員30人)	○	
川越市生涯スポーツ フェスティバル	11月3日 会場＝川越運動公園 7時30分～ウォーキング・綱引きコーナー受付開始、8時30分～ 開会式、9時30分～ふれあいコーナー、14時40分～閉会式・ 抽選会 *綱引きコーナーのみ当日参加できません。	○	スポーツ振興課 TEL224-6094 FAX224-8712
ジュニアスキー教室	3月中旬開催予定 会場＝未定 1月上旬募集開始予定 *スポーツ振興課へお問い合わせください。	○	
ジュニアアートスクエア	①12月17日 10時～12時 ②1月21日 10時～12時 申し込み＝①12月1日 9時から電話またはファクス (定員20人) ②1月5日 9時から電話またはファクス (定員20人)		美術館 TEL228-8080 FAX228-7870

※日時・申し込み方法等は、変更になる場合があります。詳細につきましては、お手数ですが各施設へお尋ねください。
 ※ の講座は、事前に申し込みが必要です(他は当日直接参加)。また、特に記載がない場合、会場は問い合わせ先の施設です。
 ※「中学生」の欄に○がついている教室は、中学生にもお勧めの講座です。

給食で使用する自慢の川越産!!

～川越産野菜の紹介～



川越市マスコットキャラクター
ときも



▲給食センターに届いた大量の小松菜



▲新鮮な小松菜

小松菜

毎年10月～2月の給食には、川越産の小松菜を使った料理が登場します。

給食で小松菜のソテーを作る時は、大量の小松菜を使用します(参考:左上写真)。この大量の小松菜を洗い、カットする作業は非常に時間がかかりますが、子ども達に新鮮な地場野菜を届けたいという気持ちで丁寧に作業をしています。

小松菜にはビタミンはもちろん、日本人に不足しがちなカルシウムや鉄分も含まれています。また、アクが少ないので下茹でせずに調理できる手軽さがあります。スーパーなどで川越産の小松菜を見かけたら、ぜひご家庭でもソテーや味噌汁などに取り入れてみてはいかがでしょうか。



▲小松菜のソテー

ひと、ホット、ほっと! がんばる



子どもサポート委員会!

特色ある事業が行われています!

霞ヶ関北地区子どもサポート委員会

霞ヶ関北地区では特色ある活動が盛んです。

7月2日には霞ヶ関北小学校、霞ヶ関東小学校の5、6年生を対象に英語交流会が行われました。子どもたちは先生と東京国際大学の学生とともにアクティビティを行い、英語に親しむことができました。

7月20日には入間川水質水生生物調査が国土交通省荒川上流河川事務所指導の下行われました。当日は霞ヶ関東中学校科学技術部が参加し、水質調査や水生生物調査など、貴重な体験をすることができました。

9月9日は霞ヶ関東中学校において「白鷺祭」が行われました。白鷺祭は地域ふれあい体験講座として毎年地域の方々が講師となつて中学生が体験活動をする行事です。今年は15講座が開かれ、生徒はそれぞれの講座で意欲的に学ぶことができました。また、学習の成果を発表する機会も設けられ、講師を中心として工夫された発表が行われ、参観した地域の方々や保護者の方からも温かい拍手が送られていました。



今年も「らっば」活動中! 夏休みは子ども自習室も!

古谷地区子どもサポート委員会

古谷地区では、今年も「らっば」が始まりました。初日は開講式に続いてジュニアリーダーによる活動を行い、参加した子どもたちは、ゲームを通じてこれから1年間一緒に活動する仲間と関係づくりをすることができました。

8月には、講師の方を招いて「うどん作り」を行いました。保護者の方、サポート委員さんも参加して協力しながらうどん作りを体験することができました。できたうどんはその場で食べることができ、子どもたちは自分で作ったうどんに舌鼓をうつっていました。

夏休み中は「子ども自習室」が開催され、多くの児童が参加しました。自習室では絵画、習字、自由学習などのスペースが設けられ、サポート委員さん、地域の方々、東中学校美術部の先生や生徒も講師として参加し、児童は自分のめあてにあった場所で学習に取り組みました。

習字教室では集中して取り組む姿が印象的で、中には納得いくまで何枚も書き続ける児童がいるなど、活気にあふれた事業になりました。



～11月は「いじめ撲滅強調月間」です～

埼玉県は、11月を「いじめ撲滅強調月間」と定め、いじめの根絶に集中的に取り組んでいます。いじめに遭ったり、気が付いたりしたら、一人で悩まずご相談ください。

電話相談窓口

○県の電話相談窓口 (24時間365日対応)

子ども専用(18歳以下) 0120-86-3192

保護者専用 048-556-0874

Eメール相談 soudan@spec.ed.jp

いじめメール相談フォーム (右のコードから入れます⇒)

○川越市いじめ相談直通電話 049-236-1818

(月～金 午前8:30～午後5:00 土・日・祝日 午前9時～正午)



市教委だよりNo.109 発行/川越市教育委員会教育総務課 TEL(224)6074(直通)

この印刷物は、国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づく基本方針の判断を満たす紙を使用しています。

リサイクル適性(A)
この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

市教委だよりは再生紙および大豆油インクを使用しています

PRINTED WITH SOY INK